

### 受験はみんなで乗り越えていくものです・・・

みなさんからの質問に対して、「学習のこと」「成績のこと」「入試のこと」に分けて回答してきました。今回は「その他」についてです。ひとまずこれが最後ですが、これからみなさんはもっとたくさんの疑問をもち、壁にぶつかり、どうしていいかわからなくなることがあると思います。でも思っていることはみんな同じということがわかったことでしょう。



さて、進路を決めるのは最終的には自分ですが、受験はみんなで乗り越えていくものと考えています。「群れて賢く 個を超える」という言葉があります。1+1は2ではなく、3にも4にもなる……。確かにみんなで知恵を絞ると、一人一人の総和をはるかに上回る発想が生まれることがあります。「群知能」とは一人一人の協調がもたらす集団の知的な振る舞いのこと。部分は全体に取り込まれるのを避け、孤立もしない。こうした力学が群れ全体に広がり、知能が生まれるのです。今、みなさんが体育で行っている集団行動。「何歩目で左に曲がる」「ここで止まる」などのルールをそれぞれが把握しているから、隊列は見事に動く。人間の世界では「群れる」との言葉はあまり良い意味では使われず、虫や動物がみせる行動と思われがちですが、社会のルールは、自らを含む群れ全体の効率を上げるために生まれてきたもの。「高め合える集団」とはこういうことなのだと思います。

同じ不安を抱えている仲間集団です。賢く力を合わせて個の力を高め、受験を乗り越えていけるように願っています。

質問	質問	アドバイス・回答
その他	39 オープンスクールの日程	これから続々とオープンスクールに関する情報が届きます。夏休みを中心にオープンスクールや学校見学があり、例年10月以降には部活見学(体験)や入試説明会なども実施されています。コロナ禍なので詳細はギリギリまでわかりませんが、届き次第お知らせしますので、見落としのないようにしてください。学校によってはオンラインで説明会を実施していますので、志望校の高校のサイトはちゃんと確認するようにしましょう。
	40 ・各高校の普段の様子をもっと知りたい ・商業高校で取得可能な資格 ・どんな部活動があるか ・専門コースの様子(授業等)	後悔しない志望校選びをするためにも、各学校で毎年実施されるオープンスクール(授業や部活動の体験、学校説明会なども含みます)に参加するのがおすすめです。可能であれば文化祭などへ行って見るのもよいでしょう。インターネット上の口コミではわからない、高校や通っている先輩たちの雰囲気を感じることができ、実際の高校のイメージを掴むことができます。また、オープンスクールでは先生や先輩に質問する時間もありますので、普段の授業の様子や卒業後の進学率や就職率など、貴重な情報を教えてもらえるメリットもあります。先輩に話を聞く場合は学校の雰囲気に加え、その高校を選んだ理由や受験対策もあわせて確認しておくとい良いでしょう。志望校選びの参考になります。
	41 行きたいと思う高校がない	そんなときこそ、オープンスクールへの参加をすすめます。複数の高校を見学して、「この学校に通っている自分」を想像してみると、少しずつその先に何がしたいかが見えてくるものです。
	42 ボランティア活動に参加するには、どうしたらよいか(調べ方)	コロナ禍でボランティア活動についてはすぐに参加できるものが少なくなっています。そうした現状を踏まえると、身近で参加しやすいボランティア活動は、地域の活動がよいでしょう。清掃活動や廃品回収など、地域で行っているものがあります。また、実際には参加できなくても、将来こんな活動をしたいということを調べて、そのために必要な準備(学習)を進めておくことも、ボランティア活動のひとつです。
	43 ・将来の夢が決まらない ・目指す職種が決まらない	志望校は、高校卒業後に何をしたいか?を考えたうえで選ぶのが望ましいです。たとえば大学に進学したいのであれば、進学校や行きたい大学への合格率が高いところを選ぶのがよいでしょう。卒業後に就職を希望するのであれば、就職内定率の高い高校を選ぶと就職活動に有利です。このように高校卒業後、または将来何をしたいのか?に合わせて志望校を選ぶと希望のルートに進みやすくなるため、「この高校を選んでよかった!」と思えるはずです。とはいえ、中学生の段階で将来像をはっきり描けている人は少ないでしょう。志望校選びを機に、少し将来のことに目を向けてみてください。また、「今考えた通りの将来を目指さなければならない」「今将来のことを決めなければならない」という訳ではありません。焦らなくても大丈夫ですので、この機会に自分でじっくり考え、また家族の意見を参考にしましょう。
	44 集中力がなく、今後の生活が不安	多くの受験生が感じていることです。そしてそれは自分の進路を真剣に考えれば考えるほどぶつかる壁です。集中力を維持するために私が意識していたことは、次の3つです。①無理しない②「見える」勉強をする③やる気の出し方を知っておくです。無理しないといえながら、やらなくてはならないときはあります。そんなときは、「1分だけ勉強しよう」「1問だけ解いてみよう」という気持ちで机に向かう方法です。そうすると、キリが悪いからもう1分やろう、もう2分やろう……と続けていくうちに、気づけば1時間勉強できている、ということがあります。人間の行動には慣性の法則が働いていて、一度やる気を出せばその状態を継続できると言われているので、それを利用した方法です。
	45 入試までメンタルやモチベーションが保てるか不安	「いつまでこんな生活が続くだろう……」「勉強の成果が出ている気がしない……」そんな風に思うことがあると思います。それはみんな同じ。入試はひとりで受けますが、受験勉強はひとりでありません。仲間も、家族も、そして私たちもいます。最後まで一緒に走り抜ける覚悟ができていますから、いつでも頼ってくださいね。

たくさんの質問、ありがとうございました。私たちも一生懸命答えますので、いつでも声をかけてください。また、保護者の方からの質問にも答えていきますので、お子さまを通してでも直接でも、進路担当へご連絡ください。